

答 辞

桜の蕾も膨らみ始め、暖かな日差しに春の訪れを感じ始める季節となりました。

私たち卒業生が晴れて、旅立ちの日を迎えることが出来ましたのも、中国学園の全ての皆様のお力添えによるものと、心より感謝致しております。

卒業という節目を迎える今、2年前、期待と不安を胸に中国学園の一員として足を踏み出した春の日が昨日の事のように思い出されます。新しいキャンパスの仲間と、不器用に笑い合い、挨拶を交したあの日から、瞬く間に月日が流れていきました。私は、大学入学当初「数多くの選択肢の自由」に戸惑いを抱いていました。今までは決められたルールに沿って歩けば、気付くと時が過ぎていました。しかし、大学ではほとんどのことを自分の意思で選択し、自分の責任で歩まなくてはなりません。これまで、時の流れに身をまかせ、与えられたものをただこなすだけだった私にとって、自分の意見を持って行動することはとても難解な事でした。しかし、いつも近くで支えてくれた方々の言葉が、右も左も分からなかった私の学生生活の道しるべとなりました。その中でも特に3つの言葉が私を大きく変え、私の心に今も強く刻まれています。

「学生のうちはとにかく失敗しなさい。助けてくれる人が必ずいるから。」

一年次の夏、ある恩師から頂いたその言葉は私の消極的な性格を変え、挑戦することへの原動力になりました。私はその日から、学業、学科のチーフリーダー、学内イベントの司会など、様々な事に挑戦してきました。学業において思うように成績が伸びず思い悩むことも、司会を行なっても緊張からか上手く思いを言葉に出来ず挫折することもありました。しかしそんな時、共に頑張ろうと励ましてくれた友の存在、そして多忙の中時間を割いて相談にのってくださった先生方の支えが、私を一步、また一步と前進させました。消極的だった私が主体的に行動できるようになったきっかけを与えてくださった恩師、そしてどんなときも支えてくれた友、先生方に心から感謝しています。

「広い視野を持ちなさい。」

一年次の冬、学科の恩師から頂いた言葉です。その言葉は私の就職活動、総合生活学科での学びを深める医療機関実習、日常生活など、様々な場面で私を導きました。就職活動では、分野を絞り込みすぎず、幅広い分野の企業に足を運び、自分のやりたいことに自問自答を繰り返したことで納得のいく就職活動を終えることが出来ました。医療機関実習では、与えられた作業だけでなく職員や患者様など周りを観察し、病院で働くという事を肌で感じながら学ぶことが出来ました。物事を進める際、広

い視野を持つことで新たな発見があり、より多くの学びを得ることが出来ました。

最後に、

「一緒に頑張ろう。」

二年間の中で、友から何度ももらった言葉です。友とは白鷺祭、就職活動、資格試験、総合生活学科での集大成となる特別研究など、様々な行事で共に競い合い、共に励まし合いました。特に特別研究でのオリジナル楽曲作りは、思い出深い時間でした。制作が行き詰まり、思い通りに思いを形にできない時も、友は決して否定的ではなく常に私を励ましてくれました。ふたりで心を込めて作った楽曲、作った時間は私にとってかけがえのない財産となりました。友は私にとって良き仲間であり、ライバルであり、何ものにも代え難い存在です。どんなときも隣にいてくれた友に心から感謝しています。

以上のように、私は何度も周りの方の言葉に救われ、背中を押されました。これらの言葉は私の中で大きな財産であり、社会人となっても私を支え続ける大切な宝物です。

四月より私たちはそれぞれの新しい道を歩み始めます。私たちは皆 20 余年の歳月をかけ、ようやく社会という大海へと漕ぎ出していきます。穏やかな波に揺られる心地よい日もあれば、荒波にのまれ迷う日もあるでしょう。そうした時、私たち卒業生の心に浮かぶことがあるはずです。本学の理念である「自律創世」のもと、自らが考え行動し過ごした中国学園でのそれぞれの濃密な時間が、私たちのかけがえのない財産として生き続けているということ。その財産を胸に、社会人として力強く羽ばたき、社会の発展に寄与できるよう、尽力していく所存であります。

最後に、今日まで手厚いご指導で私たちの可能性を広げてくださいました学長先生をはじめとする諸先生方、素晴らしい環境を整えてくださった職員の皆様、暖かくみまもってくださった保護者の皆様に、重ねて心より御礼申し上げます。在学生の皆様のご活躍と、中国学園の発展を願い、卒業生を代表し、御礼の言葉とさせていただきます。

令和2年3月19日

令和元年度 卒業生総代
中国短期大学総合生活学科
綿 谷 愛 美